

1 申請者名

膠原病・アレルギー内科 伊藤 健司

2 課題名

リウマチ性多発筋痛症の診断における ^{18}F -FDG PET/CT の有用性に関する研究

3 研究対象

2008 年以降に、防衛医科大学校病院、膠原病・アレルギー内科を受診し、リウマチ性多発筋痛症の診断基準を満たし、治療前に ^{18}F -FDG PET/CT を撮影した患者さん。

4 お知らせ文

リウマチ性多発筋痛症は高齢者に好発し、頸部、肩、大腿部などに強い筋痛や、こわばりが出現し持続する疾患です。この疾患は、診断に特異的な検査がありません。また感染症や悪性腫瘍が原因で同様の症状をひきおこすことが知られており、その原因検索のために、全身の検査が必要とされています。

最近、 ^{18}F -FDG PET/CT（以下、PET/CT）という検査が、癌の診断のために健康保険で認められ、広く利用されています。PET/CT では、がん細胞の他に炎症を起こしている部位が明らかになるため、リウマチ性多発筋痛症をはじめ、多くの炎症性疾患の診断に対しても有用性が報告されています。

今回の研究では、2008 年から 2015 年の間に防衛医科大学校病院、膠原病・アレルギー内科を受診し、リウマチ性多発筋痛症の診断基準を満たし、治療前に PET/CT を撮影した患者さんを対象にします。これらの患者さんの中で、最終的にリウマチ性多発筋痛症と診断された方と、他の疾患と診断された患者さんの PET/CT 所見を比較します。また、PET/CT 所見と、同時に行った血液検査の値も含めて、リウマチ性多発筋痛症の診断精度の向上に寄与する所見について検討します。

患者さんの臨床データはID等の個人情報とは無関係な番号付与による匿名化によって管理され、その他通常の診療と同様にプライバシーが保護されます。

研究対象となる患者さんで、ご自身の臨床データを研究に使わないで欲しい、というご希望があれば、下記の連絡先までご連絡下さい。

なお、研究へのデータ使用の拒否を表明されても、防衛医科大学校病院
膠原病・アレルギー内科における診療には全く何の影響もなく、いかなる意
味においても不利益をこうむることはありません。

その他、どのような質問でも、下記の連絡先までご連絡下さい。

- 5 研究代表者・照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先
〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2
防衛医科大学校病院 内科学講座 膠原病・アレルギー内科
TEL:04-2995-1511 (代表)
研究主任者 伊藤 健司